

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	平成28年度 嬉野市第1回食育推進会議	
開催日時	平成28年5月20日(金) 14:00～15:10	
開催場所	塩田保健センター2階会議室	
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	中村邦子委員、森サチ子委員、田代洋輔委員 森山恵美子委員、森恵子委員、吉牟田正委員 横尾彩委員(代理)、大島彩加委員、土井さとえ委員 梶原真奈美委員、上松初美委員
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、健康づくり課副課長2名 健康づくり課主任
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議レジメ</li> <li>・ 『早寝・早起き・朝ごはん』資料</li> <li>・ 個人番号(マイナンバー)通知書、返信用封筒</li> </ul>	
審議等の内容	別紙のとおり	

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 市民福祉部長挨拶</p> <p>4. 嬉野市食育推進会議運営及び役員選出について 嬉野市食育推進会議条例第5条により会長および副会長の選出 会長：中村邦子委員 副会長：森サチ子委員</p> <p>5. 食育推進会議会長・副会長就任挨拶</p> <p>6. 協議事項</p> <p>(1) 平成27年度嬉野市食育推進事業報告について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>(2) 平成28年度嬉野市食育推進事業計画について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>2) 楽しく役立つ食育講座について</p> <p>3) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【中村会長】食生活改善推進員という方々を委員の皆さんは知っているか。特に男性の委員の皆さんはどうか。</p> <p>【田代委員】知らない。</p> <p>【吉牟田委員】知っている。</p> <p>【中村会長】メンズクッキングは1回あたり何人ぐらい参加するのか。</p> <p>【事務局】25～30人程度。今年度は開催回数を増やし、県の委託事業を含めると5回開催する予定。</p> <p>【中村会長】男性の皆さんは参加しようと思うか。興味はあるか。</p> <p>【森恵子委員】学校との食育の連携について教えてほしい。</p> <p>【事務局】小・中・高校の全てに出前食育講座を実施している。昨年度は塩田工業高校、塩田中学校、小学校4校、放課後児童クラブ6グループに対し実施した。</p> <p>【森恵子委員】食育の授業はどうか。</p> <p>【事務局】学校では栄養教諭が実施している。私たちも出前食育講座の際は、必ず食育講話もしている。また、年2回の食育調査で食育の授業についても把握している。</p> <p>【中村会長】他に何か要望などないか。</p> <p>【上松委員】嬉野市は管内でも食育推進事業のモデルとなっている。今回の熊本地震で被災地支援に行き、災害時の食事の重要性をあらためて感じた。そこで、今後に備え、料理教室で災害時の簡単食について指導をしていただけたらと思</p>	

<p>審議経過</p>	<p>う。</p> <p>【中村会長】火が使えない、水が使えないなど様々な制約があると思う。この会議は生産者の代表も参加している。地元でとれる旬の食材を使って災害時を乗り切ることができたらと思う。ぜひ取り入れてほしい。</p> <p>【中村会長】楽しく役立つ食育講座の参加は委員に呼びかけなくてもいいか。</p> <p>【事務局】呼びかけなくてよい。</p> <p>【中村会長】食育の意味を知っている人は何パーセントか。</p> <p>【事務局】20歳以上の人で39.3%だった。</p> <p>【中村会長】低いと感じる。毎月19日の嬉野市家族だんらん食事の日は呼びかけることの他に何かしているか。</p> <p>【事務局】食育月間6・11月の19日には食生活改善推進員の皆さんが市内の大型店で来店客に対し、チラシとポケットティッシュを配付し推進している。</p> <p>【中村会長】例えば、市役所でも19日は残業せずに早く帰って子どもと一緒に料理をしましよとか、自分でお弁当を作って持ってきてしましよとか、そのような活動もいいのではないかと思う。委員全員で食育月間6・11月、食育の日19日を認識し、ごちそうの日でもいいし、冷蔵庫の中にあるものだけで料理する節約の日でもいいし、そういう取り組みもいいと思う。</p> <p>【事務局】何か取り組みを考える。</p> <p>【中村会長】朝ごはんレシピは、「作ったよ。」という声を聞くか。</p> <p>【事務局】ホームページの閲覧件数は2年前の掲載開始から1500件程度。前回の会議でも報告したが、市報に対するアンケートでは何件か朝ごはんレシピを楽しみに見ているという意見があった。</p> <p>【土井委員】子どもが作る弁当の日は中学校、高校にもすすめた方が系統だった教育になる。市役所の職員も19日は自分で弁当を作る日としてすすめてほしい。</p> <p>【中村会長】中学校でも弁当の日を実施しようという声が出てくればいいことだと思う。</p> <p>【梶原委員】朝ごはんレシピの応募は今年度どのくらいの時期に実施すればよいか。</p> <p>【事務局】計画では平成29年の2月号までは掲載レシピが決まっているので、今年度はそれ以降のレシピを募集することとなる。来年度の計画との関係もあるので、決定次第報告する。</p> <p>【梶原委員】昨年度、弁当の日を経験した児童が、今年度、中学1年生になっている。昨年度の経験を生かさないともったいないので、今年度、塩田中学校でも弁当の日を実施したいと思う。ふれあい弁当の日が中学1・2年生で2回ずつ、中学3年生で1回の計5回あるので、コースを作って実施したいと考えている。</p> <p>【中村会長】頭がいいだけではだめ、食事が大切だということを知ってほしい。どうですか。何か意見はありませんか。</p> <p>【吉牟田委員】初めての参加で、食育と言っても幅があるのが分かった。食育と</p>
-------------	---

審議経過	<p>は食べることだと思う。幼稚園でもいかに全部食べさせるかを実践している。給食を食べるのに12時から14時までかかる子どももいる。市外の小学校の話だが、2時間かかって食べていた子どもの小学校での様子を聞くと、「小学校では30分で食事は切り上げます。」と言われたことに疑問をもった。幼稚園では朝ごはんを食べてこない子どもにはおにぎりを持たせるよう伝え、幼稚園で食べさせている。他に、食育への動機づけとしては作物を作っている。まず食育とは食べることかなと思う。</p> <p>【中村会長】授業が始まるので、時間内に食べることも大切かと思う。しつけと食べること、どちらを優先させるか。テレビがついている方がよく食べるとなるとどうするのか。食育の目標は、健康で病気をしないような食べ方ができ、世界中どこに行っても自分で食べることができるようになることだと思う。</p> <p>(3) 第2次嬉野市食育推進計画について</p> <p>1) 現状値と目標値について</p> <p>【事務局】悪化した指標については、今後、さらなる取り組みをすすめていきたい。</p> <p>【森恵子委員】⑤教育ファームの推進についてはどうなっているのか。</p> <p>【事務局】2次計画から教育ファームの推進ははずれている。</p> <p>【土井委員】教育ファームは大切だと思う。学校でも菜園など実施している。</p> <p>【森サチ子委員】教育ファームとは休耕地を貸し出して実施することを言うのではないか。</p> <p>【事務局】菜園については家庭における食育や地産地消の分野の内容に盛り込み、すすめている。</p> <p>【森サチ子委員】現在、休耕地の利用はどのようになっているか。</p> <p>【事務局】農林課がふれあい農園事業として実施している。</p> <p>2) 具体的な取り組みについて</p> <p>※市報6月号での食育広報「6月は食育月間です」</p> <p>※別添資料「早寝・早起き・朝ごはん」</p> <p>7. その他</p> <p>1) 嬉野市「子どもが作る弁当の日」取り組みについて</p> <p>【事務局】市内の小学校全校で取組んでもらった。取り組み内容はホームページにも掲載している。</p> <p>2) 平成27年度佐賀県食育賞の受賞について</p> <p>【事務局】嬉野市からルンビニ保育園が受賞された。今後も推薦をしていきたいので委員の皆さんから該当者についての情報をいただきたい。</p> <p>3) 嬉野市食育推進会議委員名簿</p> <p>【事務局】差し替えをお願いします。</p> <p>8. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
------	--